

2022 年 8 月 19 日作成

Ver.3.0

**顎骨浸潤性疾患の鑑別診断におけるマルチパラメトリック MRI 診断の有用性に関する研究****1、研究の目的と意義**

顎の骨（顎骨）にできる病気には骨髄炎や悪性腫瘍などがありますが、これらは見た目や症状が類似しており、鑑別が困難なことがしばしばあります。MRI はこのような病気の診断によく行われる検査ですが、通常行なっている MRI 検査ではやはり鑑別困難なことがあります。本研究は、「拡散強調 MRI」という生体の水分子の拡散現象を画像化する撮影法と、「ダイナミック造影 MRI」という血液の流れを画像化する撮影法を組み合わせた解析（マルチパラメトリック解析と言います）を行い、顎骨の骨髄炎と悪性腫瘍の鑑別を試みる研究です。「拡散強調 MRI」も「ダイナミック造影 MRI」も通常行われている MRI 検査ですが、今回の研究ではこれらの検査データを「数値化」した解析を行います。この研究によりこれらの病気の診断・治療に役立てたいと思います。

**2、対象となる患者さん**

顎骨の骨髄炎や悪性腫瘍などが疑われる患者さんで、2012 年 4 月 1 日から 2024 年 12 月 28 日までの期間に長崎大学病院で CT と MRI 検査を受けた成人の方を対象とします。いずれも治療開始前の検査であることと、MRI については Siemens 社製 3T MRI 装置 Skyra を用いて、「拡散強調 MRI」と「ダイナミック造影 MRI」の両方の検査が行われている必要があります。

**3、研究の方法**

カルテ情報を用いて患者さんの病理診断名を確認し、研究対象に当てはまる方（骨髄炎と悪性腫瘍）を選択します。次にその方の「拡散強調 MRI」や「ダイナミック造影 MRI」画像データのマルチパラメトリック解析を行い、今回の解析法を行うことにより、病理診断と同様に顎骨の骨髄炎と悪性腫瘍の鑑別が可能であるか確認します。

**4、研究に用いる情報**

患者背景情報：年齢、性別、診断名、既往歴、病理診断

画像検査情報：MRI、CT

匿名化された情報を用いるため、個人が特定されることはありません。しかしながら研究のために自分のデータが使用されることを望まれない方は、下記の研究責任者までお知らせください。

本研究で利用する情報について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。

**5、研究期間**

研究機関長の許可日～2025 年 3 月 31 日

## 6、外部への情報の提供

該当なし

## 7、研究実施体制

この研究は長崎大学病院のみで実施する研究です。

《研究責任者》

長崎大学病院 歯科放射線科 研究責任者 佐々木 美穂

## 8.お問い合わせ先

長崎大学病院 歯科放射線科 佐々木 美穂

〒852-8501 長崎市坂本 1 丁目 7 番 1 号

電話：095（819）7709 FAX 095（819）7711

【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）

苦情相談窓口：医療安全課 095（819）7616

受付時間：月～金 9：00～17：00（祝・祭日を除く）